

富山市教育委員会 2 月定例会 資料

令和3年度末教員異動方針

富山市教育委員会

1 総括

富山県教育委員会の異動方針及び留意事項に基づき、富山市の教育の現状を踏まえるとともに将来を見通し、全市的視野にたつて効果的な人材配置を行い、教育活動の活性化を図り教育水準の向上を期する。

2 登用（内申）

・ 校長

富山県市町村立学校長任用候補者名簿に登載された者の中から内申する。

・ 教頭

富山県市町村立学校教頭任用候補者名簿に登載された者の中から内申する。

3 転任（内申）

- ・ 各小中学校と地域の実態把握に努め、全市的な視野にたつて異動を行う。
- ・ 県教育委員会や他市町村教育委員会と連携をとり、異校種及び他地教委との広域的な交流を行う。
- ・ 居住地、通勤方法並びに本人の希望等について考慮しながら、教育活動の活性化と教育水準の向上を図ることを優先課題とし、適正かつ効果的であり、適材適所となるような配置を行う。
- ・ 同一校勤務が長期にわたる者については、学校の状況を勘案しながら転任を行う。特に10年以上の者は、原則として転任を行う。また、初任者については、原則5年以内に転任を行う。
- ・ 同一校勤務が2年に満たない者は、原則として転任させない。

4 新規採用教員

新規採用教員については、学校の規模及び年齢構成、前年度までの受け入れ状況等を勘案した配置になるよう努める。

富山市立小・中学校の再編原案に関する答申について

[学校再編推進課]

令和3年10月15日に富山市通学区域審議会へ諮問した「富山市立小・中学校の再編原案の妥当性」について、令和4年2月15日に答申があったため、報告するもの。

1 答申について

審議会では、3つの観点（適正規模の維持・教室の過不足・通学の負担）から審議され、答申において、再編原案36案のうち下記の27案が妥当であるとされた。

地域生活圏	No.	再編の組み合わせ	再編先学校	手法
富山中央	1	柳町小、中央小	→ 中央小	統合 通学区域変更
	2	柳町小（奥田小校区）、奥田小	→ 奥田小	
	3	柳町小（東部小校区）、東部小	→ 東部小	
富山北部	4	岩瀬小、萩浦小	→ 萩浦小	統合 通学区域変更
	5	針原小、浜黒崎小、大広田小	→ 大広田小	
	6	針原小（新庄北小校区）、新庄北小	→ 新庄北小	
	7	針原小（大広田小校区）、浜黒崎小、大広田小	→ 大広田小	
和合	8	四方小、八幡小、草島小、倉垣小	→ 和合中併設小	統合
呉羽	9	古沢小、池多小、長岡小、寒江小、老田小、呉羽小	→ 呉羽小	最終統合
富山西部	10	神明小、五福小	→ 五福小	統合
富山東部	11	太田小、山室中部小	→ 山室中部小	統合
大沢野	12	船峯小、大沢野小	→ 大沢野小	統合
	13	船峯小、大久保小	→ 大久保小	
大沢野・細入	14	神通碧小、大沢野小	→ 大沢野小	統合
	15	船峯小、神通碧小、大沢野小	→ 大沢野小	
	16	楡原中、大沢野中	→ 大沢野中	
大山	17	福沢小、小見小、上滝小、大庄小	→ 上滝中併設小	最終統合 統合
	18	福沢小、小見小、上滝小、大庄小	→ 大庄小	
八尾	19	櫻尾小、八尾小	→ 八尾小	一次統合 最終統合
	20	櫻尾小、杉原小	→ 杉原小	
	21	櫻尾小、八尾小、杉原小、保内小	→ 八尾地域統集中併設小	
八尾・山田	22	櫻尾小、山田小、八尾小	→ 八尾小	一次統合 最終統合 統合
	23	櫻尾小、山田小、八尾小、杉原小、保内小	→ 八尾地域統集中併設小	
	24	山田中、八尾地域統集中	→ 八尾地域統集中	
婦中	25	朝日小、速星小	→ 速星小	統合
	26	古里小、音川小、神保小	→ 城山中併設小	
	27	古里小、音川小、神保小	→ 神保小	

※太字は再編対象校

2 附帯意見について

市教育委員会が学校再編を進めるにあたり、配慮してほしい「通学時の負担」、「教育内容・教育環境」、「再編の進め方」、「保護者や地域の理解」、「地域文化」の5項目について、審議会の意見が附された。

市立小・中学校及び幼稚園の閉校式及び開校式の日程について

[学校再編推進課]

市立小・中学校再編等により、令和3年度末で閉校する小・中学校及び幼稚園の閉校（園）式、並びに、令和4年度に開校する小・中学校の開校式の日程について報告するもの。

1 閉校（園）式について

	学校（園）名	日時
小学校	三郷小学校	令和4年3月16日（水） 午後1時30分 開式
	上条小学校	令和4年3月16日（水） 午後3時 開式
中学校	杉原中学校	令和4年3月12日（土） 午前9時30分 開式
	八尾中学校	令和4年3月12日（土） 午前11時 開式
幼稚園	愛宕幼稚園	令和4年3月23日（水） 午前11時 開式
	大庄幼稚園	令和4年3月23日（水） 午前9時30分 開式

2 開校式について

	学校（園）名	日時
小学校	三成小学校	令和4年4月6日（水） 午前10時 開式
中学校	八尾中学校	令和4年4月6日（水） 午後1時30分 開式

「令和 3 年度全国体力・運動能力、
運動習慣等調査」結果の概要について
(資料別紙)

え ぶん 画と文にみる 江戸時代の越中富山



江戸時代の富山には、多くの旅人が訪れました。商用の町人、単身赴任の学者、立山禅定の参詣人、さらには各地を巡り歩く絵師や取材旅行の作家など、旅の目的も身分も様々です。

この富山の地で、訪れた人に強い印象を与えたのが神通川船橋でした。大きく弧を描いたダイナミックな姿は、「日本一の船橋」と評され、様々な名所図会や浮世絵版画に描かれています。まさに、全国に知られる富山名所、霊山立山と並ぶ越中名所だったのです。

本展では、神通川船橋と立山という二大名所を軸に、越中を訪れた人が描き、記した画や文を通して越中富山のイメージを紹介します。

会 期 令和4年2月19日（土）～4月17日（日）

休 館 日 3月9日（水）

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

会 場 富山市郷土博物館（富山城）

観 覧 料 大人210円 高校生以下は無料



富山市郷土博物館
TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM



〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/>

絵はがきに見る富山市街地の変遷 ～明治・大正・昭和戦前～



今から110年ほど前の越前町の様子。現在の平和通りと大手通りの交わる所です。角にはレンガ造りの郵便局が建っていました。数年後、ここに市電が通るのです。



今から90年ほど前の総曲輪通り



明治・大正・昭和戦前期の写真絵はがきに写された富山市中心市街地の街並みの変遷を、現在の姿と合わせてパネルで展示します。

会 期 令和4年2月28日(月)～3月11日(金)

会 場 富山市役所 1階 多目的コーナー

観 覧 料 無料





静けさの地平
カースティ・レイ

KIRSTIE REA

THE BREADTH OF STILLNESS

2022.3.12 sat - 6.26 sun

会場：富山市ガラス美術館2・3階 展示室1-3
 開場時間：9:30-18:00 (金・土曜日は20:00まで、入場は閉場の30分前まで)
 閉場日：第1・3水曜日(5/4, 6/14は開場)、5/11、6/8
 主催：富山市ガラス美術館
 助成：オーストラリア・カウンシル・フォー・ジ・アーツ
 オーストラリア首都特別地域政府
 後援：オーストラリア大使館、富山日豪ニューゼaland協会、北日本新聞社
 富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送
 Venue: Toyama Glass Art Museum, Floors 2-3, Exhibition Rooms 1-3
 Opening hours: Sun-Thu 9:30-18:00 (admission until 17:30)
 Fri-Sat 9:30-20:00 (admission until 19:30)
 Closed: First and third Wednesdays (except May 4 and June 1), May 11, June 8
 Organised by Toyama Glass Art Museum
 Funded by Australia Council for the Arts, ACT Government
 Officially supported by Australian Embassy Tokyo
 Japan-Australia-New Zealand Association of Toyama
 THE KITANIPPON SHIMBUN, THE TOYAMA SHIMBUN
 Kitanihon Broadcasting Co., Ltd., TULIP-TV INC.
 TOYAMA TELEVISION BROADCASTING CO., LTD.

(とどまるもの) 2019年 作家展 撮影：デイヴィッド・ペイターソン
 What remains, 2019, Collection of the artist, Photo: David Paterson.

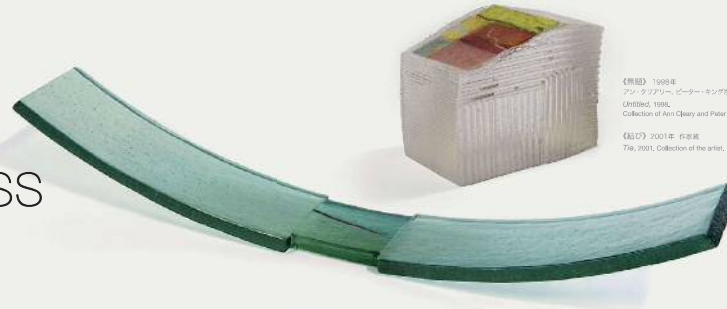


富山市ガラス美術館
 TOYAMA GLASS ART MUSEUM

カースティ・レイ

KIRSTIE REA
THE BREADTH OF STILLNESS

2022.3.12 sat-6.26 sun



《静寂》 1998年
アン・クワイ、ピーター・キング画廊 (キャンベラ)
Untitled, 1998,
Collection of Ann Quay and Peter King, Canberra.

《折り》 2001年、作家蔵
7th, 2001, Collection of the artist.



《静けさの地平》 2019年、作家蔵
Still presence IV, 2019, Collection of the artist.

静けさに向かって歩くことは、重ねたものを脱ぎ捨て、日常を離れ、期待を振り払うことを伴う。私は静まり返った場所へ、未知の可能性と新たな視点へと歩く。—カースティ・レイ
Walking towards stillness involves shedding layers, shedding the everyday, shedding expectations. I walk to a place of stillness, to unknown possibilities and fresh ways of seeing. —Kirstie Rea

静けさの地平

オーストラリアの作家カースティ・レイは、故郷キャンベラ周辺の丘陵や自然公園を歩くことを通して、現代の暮らしの中で希薄になりがちな、「場所とつながる」という感覚を探索してきました。彼女の体験や気づきは、ガラスの彫刻やインスタレーションによって表現されます。自然から得た感触を柔らかくたわんだガラスで象った「折り」や、農作業が土地に刻んだ痕跡を表す「農具」のシリーズには、場所への敬意や愛着とともに、人間と環境の相互的な関係への深い関心が込められています。

レイにとって、作品制作を通して場所にもつわる記憶に触れることは、自分の存在を包み込む風景との一体感のうちに、彼女自身の「居場所」を見つめ直そうとする試みであるともいえます。過去最大にして日本初の個展となる本展では最新作を交え、およそ40年に及ぶ創作と思索の軌跡をたどりながら、レイが歩んできた広大な静けさを展望します。

Australian artist Kirstie Rea walks in the hills and natural parks around her hometown Canberra to explore a sense of 'connecting with place' that can often be tenuous in contemporary culture. She expresses her experience and awareness in glass sculptures and installations. The *Folded* series that depicts feelings of nature in softly curved glass and the *Rake* series that represents traces carved on the land by farming, carry her respect for and attachment to place, as well as her deep care for the reciprocal relationship of humans and the environment.

For Rea, experiencing the memory of place through her art is an attempt to reflect on her own 'place' and sense of unity with the landscape that embraces her being. This exhibition, her largest ever and first solo show in Japan, traces the breadth of stillness she has walked by presenting recent works along with works from nearly 40 years of her creation and thought.



《見守り》 2018年、作家蔵
Knowing, 2018, Collection of the artist.



《壱》 2013年、作家蔵
Charred II, 2013, Collection of the artist.
撮影(左): デヴィッド・ペイターソン
Photos: David Paterson.

カースティ・レイ氏 記念講演会 (予定)

参加無料、申込み不要

学芸員による見どころトーク

参加無料、申込み不要

日時: 3/26(土)、4/16(土)、5/21(土)、6/18(土) 各日11:00、14:00から

- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、美術館ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

会期中のイベント

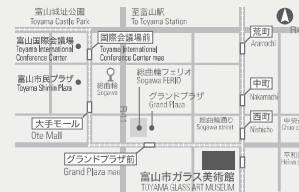
富山ガラス造形研究所/2022春ワークショップ

一般公開(一部日程のみ、予定) 参加無料、申込み不要

富山ガラス造形研究所ではカースティ・レイ氏による学生向けワークショップが実施される予定です。期間中、一部日程にて授業の一般公開が予定されています。

○ イベントの詳細は2022年4月以降、研究所ウェブサイトに掲載予定です。

富山ガラス造形研究所 〒930-0143 富山県富山市西金屋80
Tel 076-436-2973 Fax 076-436-2974 toyamaglass.ac.jp



交通アクセス

【富山駅より】○徒歩20分 ○市内電車南富山駅前行きに乗り、高野(高野)下車、徒歩1分 ○市内南車環状線(セント)に乗り、グランドプラザ前下車、徒歩2分(富山駅から「西町」グランドプラザ前)まで約10分
【富山空港より】○地鉄/バス(富山空港線)「細曲(えさび)」下車、徒歩4分

Access [From Toyama Station] ○20-minute walk, ○Take the tram (Shinai-densha) for Minami-Toyama-Eki-Mae, Get off at Nishicho, 1-minute walk, ○Take the City Loop Line tram (Shinai-densha Kanjo-sen), Get off at Grand Plaza Mae, 2-minute walk, (Tram takes approx. 10 minutes from Toyama St. to Nishicho/Grand Plaza Mae.) [From Toyama Airport] ○Take Local Bus Toyama Airport Line (Toyama Kuko-sen) and get off at Sogawa, 4-minute walk.

観覧料
Admission

一般 1,200円(1,000円)	大学生 1,000円(800円)
General Public 1,200 yen (1,000 yen)	University and College Students 1,000 yen (800 yen)

前売券取扱い: 一般1,000円のみ
Advance Ticket (General Public: 1,000 yen)

TOYAMA キラリ IF 総合案内
TOYAMA KIRARI IF Information and Help Desk
アスネットカウンター (Tel 076-445-5511)
ASNEN Counter

- (0) 年20名以上の団体料金 ○ 高校生以下無料 ○ 本展観覧券で常設展も観覧可
- (○) for groups of 20 or more ○ High school students and younger: Free
- Tickets for Kirstie Rea include admission to Permanent Exhibition.



QR Translator.



TOYAMA 富山市
キラリ 富山ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM
〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
5-1 Nishicho, Toyama City, Toyama 930-0062 Japan
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
toyama-glass-art-museum.jp